

振り込め詐欺 被害者の声



千葉県警察本部
生活安全総務課・捜査第二課

「振り込め詐欺被害者の声」 発刊に当たって

振り込め詐欺の被害は年々増加の一途をたどり、平成二十五年には全国で九二二四件、約二五六億円、千葉県では七二四件、約二億七千万円という甚大な被害が発生しています。被害者のほとんどは六五歳以上の高齢者で、一千万円を超えるような被害も多発していることに驚かされますが、老後の資金を奪われるという財産的な被害のみならず、家族から、「なぜ自分を信じてくれなかったのか。」などと非難され、家族の信頼関係までもが崩壊してしまうようなケースもあり、数字に表れている以上に深刻な被害を招いている実態があります。

これほどまでに被害が深刻化している背景としては、必ずしも県民の皆様には振り込め詐欺被害の実態が伝わっていないということが考えられます。被害者のほとんどは「振り込め詐欺は知っていた。」「自分だけはだまされないと思っていた。」と振り返ります。しかし実際には、振り込め詐欺の手口のほうが想像を超えていて、普段犯罪とは無縁な一般の方には見破れないような、良くできた話を作り上げられて巧妙にだまされてしまっているのです。

したがって、振り込め詐欺の被害をなくしていくためには、高齢者に対してのみ、その手口や対策を訴えかけるのではなく、家族を含め社会全体にその悲惨な被害の実態を周知していく取組が重要であるといえます。また、ある調査によれば、高齢者に対する最も有効な啓発手段は、身近な人から得る情報、「パーソナルコミュニケーション」であるという結果も得られています。

- 一 息子のためにお金を渡したのに・・・
- 二 気づいた時には一〇〇万円が・・・
- 三 えっ！ 私、騙されたの？
- 四 夫婦で騙されてしまった
- 五 「人生最悪」の一日でした
- 六 一人暮らしの私を騙すなんて
- 七 警察官と言ったから信用したのに！
- 八 早く警察に連絡して良かった
- 九 振り込め詐欺 絶対許せません！

女性	女性	女性	女性	女性	男性、女性	女性	女性	女性
五九歳	七五歳	八〇歳	〇〇歳	七八歳	八〇歳	六五歳	四三歳	六五歳
31	28	24	21	18	14	10	6	1



私は、長男と信じた男に大切なお金を騙し取られました。

今でも見事に騙されたことが悔しくて忘れることができません。私の騙された経験をお話ししますので、皆さんは私のように決して騙されないようにご注意ください。

私は主人と次男の三人で暮らしていて、長男は別居しています。

私は、今まで普通に生活をしてきて他人を騙したり、また、騙されたこともありません。良い人との交際しかなく、人を信じる気持ち強い方で、友人達には「あなたは人が良すぎて騙されやすい性格だから気をつけてね。」とよく言われていました。

私は、世間で言う「振り込め詐欺」というのは、被害者が騙されて銀行等でお金を振り込んでしまうパターンしか知りませんでした。私の場合は「長男がお金に困っていて、本人が取りに来る。」というので、この電話は決して振り込め詐欺ではないと思っていました。

私は、振り込め詐欺なんかで何で騙されるんだろうと不思議に思っていましたし、自分には絶対騙されることはないと思っていたのです。そして、今まで振り込め詐欺のような変な電話は、家に全くありませんでしたので、振り込め詐欺は他人事としか受け止め

ていなかったのです。

夫も次男も仕事に出かけているので、日中はいつも私が自宅で家事をしています。昨年の八月下旬ころ、家に電話がありました。息子とは言わず、その男は「どこからか電話がかかってこなかったか？」というようなことを言ったのです。私は何故かこの男の人を長男だと思ってしまったのです。少しして二回目の電話では「食堂に部長のカバンを忘れた。カバンの中には自分の携帯電話を入れていた。」と説明したのです。

その時、長男の声と少し違っているなと感じたので、そのことを言ったら、その男は「今、部長の携帯電話を借りて話しているから、声が変わって聞こえる。」と言ったのです。私は他人の言うことを信じる性格なので、何の疑いも持たずその言葉を信じて、相手の男の人を長男だと思い込んだのです。そして「部長の電話番号をメモして。折り返しはこの電話にして。」と言ってきました。

今思えば、この時点で電話の男を本当の長男と信じ込ませて、本当の長男の携帯電話に連絡させないように、私をまんまと罠にひっかけたのです。

そして相手の男は「カバンの中には、大事な契約書と会社のカードが入っていた。会社には言えない。」「今日中にお金と契約書が必要だ。今、部長が母親にお金を用立ててもらっている。部長ばかりに迷惑をかけられないので、自分も何とかしたい。お母さん、お金用意できる？」と言ってきたのです。

私は、長男が大きな失敗をして、とんでもないことになってしまっている。もしかしたら会社をクビになってしまいかも知れない。長男の人生が終わってしまうなどと悪い

ことばかりが頭の中をぐるぐる回り出したのです。そして、私自身がとんでもない災難に巻き込まれてしまったかのような錯覚に陥ったのです。

そうしますと、私が何としても長男を助けなければならぬし、助けるなら今しかない。お金を用立ててあげようという気持ちが強くと強く起きました。騙されているなんていう考えは微塵もありませんし、夫や次男に相談する余裕など全くありませんでした。

私は、「五百万だったら用意できる。」と長男だと信じた男に伝えました。すると、部長という男の人が「お母さん、ご迷惑をかけてすみません。自宅まで、息子さんと二人で行きます。」と言ってきたのです。

長男と部長がお金を取りに来るといっているので、更に何の疑いも持たず、早くお金を引き下ろしに銀行に行かなきゃと思っただけです。

ドラマを思わせるような騙しの話術です。犯罪に抵抗力のない純情な私のような年寄りを騙すなんて、彼らにとってお茶の子さいさいなんですね。悔しい・・・

銀行の窓口で、お金を降ろす時に女性職員二人から、「今詐欺が流行っています。大丈夫ですか？」と聞かれ、さらに「チェックシート」でも確認されました。

その時、私は親切に声を掛けてくれたことに嫌な思いはしていませんが、今のご時世、大金を下ろすのも厳しいなという思いがしました。私は、早くお金を下ろさないといけないという気持ちが強かったのです。銀行員に「海外旅行に行きます。それに兄が倒れたので、少し用立ててあげます。」と咄嗟に嘘をついてしまいました。

我ながらうまい理由を言ったものだという思いが頭を過りました。

家に帰ってから、部長の携帯電話にお金を用意できたことを連絡しました。部長を名乗る男は「息子さんは契約書を作成して忙しくて受け取りに行けないから、代わりに別の者に取りに行かせます。」と言いました。

私は、この時にも変だなとは思いませんでした。しばらくすると、長男を騙る男からの電話で「受け取る人が家が分からないので、近くの小学校の正門まで来て。」と連絡がありました。私は、言われた小学校の正門に行くと、男の人が待っていたのでその人にお金を渡しました。五百万という大金を渡した時には、これで長男が助かるんだ、母親としての務めを終えたんだという安堵感がありました。

しかし、その日の夕方に本当の長男に電話をしたら、騙されてしまったことが分かったのです。

その瞬間、「アー騙された。どうしよう！」目の前が真っ暗になり息ができなくなっていました。

警察に被害届けを出しましたが、簡単には犯人は捕まりません。お金は戻ってきません。騙し取られた五百万円は七年に及ぶアルバイトでコツコツ貯めたお金です。老後は、この五百万円と年金を頼ってなんとか暮らしていこうとしたお金なのです。お金がなくなったことで、老後の計画がすべて狂ってしまいました。

私の年齢で仕事を探そうとしてもなかなかありません。辛くて、苦しくて夜も寝れない日々が続く情緒不安定になりました。そして、いつそのこと首を吊ろうかと一人で悩む日が続いたのです。

私が落ち込んでいる姿を見て、夫や長男、次男が気を遣ってくれたお陰で、心が落ち着いてきて、今は何とか普通の生活ができるようになりました。家族の絆が私を救ってくれたと感謝しています。

今回のことで、振り込め詐欺から自己防衛するには、家に自分一人しかない場合、まずは冷静になり一人で動かないこと。必ず、家族に相談することが大事だと思います。

又、おかしい電話と気づくように、電話番号を表示する電話機に替えます。電話番号を表示しない怪しい電話に出るつもりはありません。

又、千葉テレビのデータ放送で、県内の振り込め詐欺の電話の内容が分かることも知りました。警察の人が、自分が悩んだことや心のもやもやを聞いてくれて気持ちが軽くなりました。感謝しています。



二 気づいた時には一〇〇万円が・・・

女性 四三歳

「なぜ、あの時、夫に相談しなかったんだろう。」今、私の気持ちは、騙されて悔しいという気持ちよりも、後悔の気持ちの方が勝っています。

振り込め詐欺は、テレビや新聞などによく出ていたので知っているつもりでした。しかし今考えてみると「私はまだ若いし、振り込め詐欺の電話が掛かってくることもなかったし、電話が掛かってきても騙されないだろう。」と、振り込め詐欺は他人事と考えており、危機意識が足りなかったんだと思います。

それでは私がどの様に騙されてしまったかをお話しします。振り込め詐欺の犯人は、昨年九月中旬の午前一〇時一五分ころ、自宅の電話に義弟を名乗り電話をかけてきました。犯人の声は、義弟によく似ており、話口調までそっくりだったので、私は何の疑いもなく話を始めました。

この時は「電車の中で、仕事の契約書、預金通帳、携帯電話が入ったバッグを無くしてしまった。携帯電話も入っていたので、見つかったときの連絡先は、私（被害者）の自宅にしてあるので、警察や駅の遺失物センターから電話があるかもしれない。」という内容で、お金を打診する話は一切ありませんでした。

その日の昼前までに何回かバッグが届いたかを確認する電話がありました。午前一時五十分ころ、「今日の午後二時半までに仕事の支払いがあるのでお金を貸してほしい。」と言われたのです。義弟とは普段から仲が良く、今まで一度もお金の貸し借りなどしたことも無かったし、兄嫁の私を頼ってきているので「何とか力になってあげたい。」と思ひ、「二〇〇万円なら用意が出来る。」と答えたのです。義弟は「ありがとう。急いでお金を家に取りに行く。今隣に上司がいて、お礼を言いたいと言っているのです上司に代わる。」と言うと、上司を名乗る男が電話口に出たのです。

上司を名乗る男は「今回の件で、私も両親に二〇〇万円を立て替えてもらいました。最近では振り込め詐欺が多く発生しているみたいで、銀行は両親が振り込め詐欺に遭っているのではないかと疑って、私に電話を掛けてきましたよ。病院の入院代などと言えば直ぐに下ろせると思いますが、怖い世の中ですね。」などとお金を下ろす時の理由を教えてきたのです。

この時、私は犯人に「振り込め詐欺になんか引っかけりませんよ。」などと笑いながら話をしていました。

電話を切ると私は急いで近くの郵便局に行き、ATMと窓口で一〇〇万円を引き下ろし自宅に戻りました。

自宅に帰るとお昼ころ、中野駅の遺失物センターから「バッグの落とし物が届いています。本人以外はお渡しできないので、本人に取りに来るよう伝えて下さい。」との電話が掛かってきたので、義弟にバッグが届いたこととお金が用意できたことを伝えたのです。

義弟は「遺失物センターには俺がバッグを取りに行かないといけないから、お金は他の人に取りに行ってもらおうね。今日借りるお金は、明日上司と一緒に返しに行くよ。」と言ったので、私も「わかった。」と了解したのです。

そして、自宅近くのコンビニエンスストアの駐車場でお金を取りに来た男に一〇〇万円を手渡したのです。

お金を取りに来た男は、チンピラ風の男でしたが全く疑いを持つことはありませんでした。

翌日、義弟がお金を返しに来るのを待っていましたが出来なかったので、電話をしてみたところ「電話もしてないし、お金も借りてないよ。」と言われ、そこで初めて振り込め詐欺にあったことに気がついたのです。

私は、お金を相手に渡すまでの間、一度も疑うことはありませんでした。

今回騙されたことを反省してみると、「なぜ義弟は自分の妻に連絡をしなかったのか。」「なぜ一〇〇万円もの大金を渡すのに夫に相談しなかったのか。」「なぜバッグを無くしたときの連絡先が私の家の電話だったのか。」と疑問点が出てきました。

私は最初の電話で本当の義弟と思ってしまったので、お金を渡すまで一つも疑いを持たなかったのです。顔を見ないで相手を信ずる者はお金を失うことを学びました。

夫に打ち明けた時は「どうして連絡してくれないんだ。」と叱られてしまい、私は落ち込んでしまいました。夫の優しさで今は普通に生活することができています。

騙し取られたお金を稼ぐために働かなければならなくなりましたが、私の年で雇ってもらえる場所はなかなか無く、職探しに奔走する毎日です。

振り込め詐欺は、お金を騙し取るだけでなく、人の良心までも騙し取る卑劣な犯罪です。

振り込め詐欺は大丈夫と少しでも思っている人こそ、真剣に「振り込め詐欺の騙しのテクニクは高度である」ことを知ってもらい、一人で判断しないで家族に相談してください。



三 えっ！ 私、騙されたの？

女性 六五歳

息子から「僕は、お母さんに電話してないよ。」と言われた時、私は頭が真っ白になり腰が抜けてその場に崩れ落ちてしまいました。

「リリリン・・・」昨年七月三一日午前一〇時三〇分ころ、一本の電話が自宅に掛かってきたのです。

夫は仕事に行っており、家には私しか居ませんでした。電話に出ると「もしもし、俺だよ母さん。」と話しかけてきたのです。電話口の声は、長男に似ていたので長男の〇〇だと思い、特に疑うこともなく「〇〇どうしたの？」と返事をする。「昨日から咳が止まらないので、肺炎かもしれない。熱も三八度あるので病院で検査してきた。熱でフラフラして携帯電話を病院のトイレに落としましたから、今修理に出して携帯電話をレンタルしている。電話番号は、××××だから、登録しておいてね。」と言われたのです。

私は長男の体調が心配だったので「検査結果が分かかったら連絡して。」と言って電話を切り、男が言った電話番号を自分の携帯電話に登録したのです。

その日の夜、午後八時ころ、また男から電話があり、この時は夫が帰宅していたので

夫が電話に出ました。

男は夫にも「熱があつて体調が悪い。」という話をした後、私も少し話をして電話を切りました。

夫は「〇〇の声変だね。本当に〇〇かな。」などと疑っていましたが、私が「あんた何言ってるのよ！ 〇〇は熱があつて肺炎に掛かっているから声まで変になっているのに、そんなこともわからないの？」と長男を心配しない夫に言うと、夫は不服そうでしたがそれ以上話をすることはありませんでした。

翌日午前九時ころ、男から三回目の電話が掛かつてきました。

この時は私しか家におらず、電話に出ると、最初は体の具合がだいぶ良くなった話をしていたのですが「実は、株を四万円から始めたんだけど、儲かっていたのでサラ金に借金をして投資していたら、株屋に逃げられて六四〇万円の損害を出してしまいました。今日中に借金を返済しないと利子が付くし、訴えられてムシヨ行きになってしまう。何とかならないかな？」と言ってきたのです。

私は、「サラ金などから借金したら暴力団などに狙われるかもしれないし、返済できなければ刑務所に入れられてしまう。何とかしなければ」と思い、大事な息子を助けるために、出来る限りお金を用意することにしたのです。

まず、A銀行に行き、夫の口座を全て解約して二八〇万円を引き下ろすことにしました。

銀行からは、「お金の使い道」や「高額な支払いですが振り込みではないのですか」

などと聞かれましたが「家のリフォーム代に使うの。」「知り合いの業者だから大丈夫！ 急いでんのよ！ 早くして！」と、お金を下ろすために必死で嘘を言ったのです。

この時、私は、息子を心配するあまりお金の使い道などを聞いてくる銀行の人が、お金を下ろすことを妨害する敵にしか見えていなかったのです。

その後、二カ所の金融機関を回り、合計四八〇万円を引き下ろし、男にお金が用意できたことを電話すると「今、弁護士と話をしているから離れられない。お金は弁護士の秘書が取りに行くから、△△駅まで来て。」と言ってきたので、△△駅までお金を届けに行つたのです。

午後二時ころ△△駅に着くと、弁護士の秘書を名乗る誠実そうな男の人がやってきて「息子さんの代わりにお金を預かりに来ました。」と言い、持っていたビジネスバッグを開けたので、私は持つてきた現金を男のバッグに入れたのです。

お金を渡したとき、私の気持ちは「ああ良かった。これで息子が助かる。」という思いでした。

夜になって夫が帰宅し「今日、こんな事があつたよ。」と話をしたら、夫は「子供に電話を試してみたら。」と言うので電話を入れてみました。

すると「僕は、お母さんに電話してないし、お金も借りてないよ。」と言われ、振り込め詐欺に遭つたことが分かったのです。

私は、民生委員の経験があり、振り込め詐欺の手口などはある程度知っていたので、振り込め詐欺には絶対に引掛からないと思っていました。ところが、息子からの電話

はいつになっても嬉しいものですし、息子の一大事に何とか力になってあげたいと思うと、疑うことよりも、どうすれば息子の力になってあげられるかということに頭がいってしまい、全く騙されたことに気付きませんでした。

今思えば、男と話をして夫が「おかしい」と言ったとき、よく確認をすればよかったと思いますし、男の話には「株屋が逃げた。」「今日中に返済できなければ刑務所行きになる。」「刑務所行きになると言いながら、誰にも言わないで欲しいと言う。」「など、辻褄が合わない話がいくつもありました。

振り込め詐欺は誰もが被害に遭う可能性があります。

振り込め詐欺を防ぐ方法は「家族に話をする。」「金融機関の人などの話を聞く。」など、第三者に相談することが大切です。

被害にあつた後、自宅の電話は留守番電話に設定し、家族での合い言葉を決めました。皆さんは、被害に遭う前に対策をして、大事なお金を詐欺グループに騙し取られない様にして下さい。



四 夫婦で騙されてしまった

夫（八〇歳）、妻（八〇歳）

私は夫と二人暮らしをしております。子供は娘が二人と息子が一人で、それぞれ所帯を持って別々に暮らしています。

振り込め詐欺については、新聞やニュースで知っています。本当でない息子の電話で何故騙されるんだろう？といつも思っていましたし、私達が普段心掛けていることは、こんな電話がきたら、息子に確認しようと思つていたので、絶対騙されないと自信を持っていました。また、今まで振り込め詐欺の電話が家にかかってきたことは全くありませんでしたし、まさか私の家に振り込め詐欺の電話がくるとは思ってもみませんでした。ところが、遂に息子を名乗る電話が家にかかってきたのです。今思えば電話の内容の中で、「あれちよつと変だな？」と感じたところが二〜三回ありました。

だけど、親として息子の困った状況を何とか助けてあげたいと思う気持ちが優先したので、おかしいと思つたことを自分で打ち消してしまつたのです。

今年の夏、午前九時半ころ家の電話が鳴りました。当日は、夫と一緒にいて最初に私が電話に出ました。相手は「オレだけど」と言ってきたので、私は息子の名前「〇〇？」と聞いたところ、「そう」と言ってきました。その時、私は息子の声がいつもと違うし、

仕事で海外に行ってるはずなのにと、ちょっとおかしいなと思いつつ声が違うね。」と疑う感じで聞いたら、息子を名乗る相手は「昨日の夜、冷房をかけて寝たら風邪を引いてしまった。」と言ったのです。息子を名乗る男は私が少し疑っていると感じたらしく、「電話代わってくれ。」と言ってきたので、夫に電話を代わりました。

息子を名乗る男は、「仕事に行くため、タクシーに鞆を忘れてしまった。鞆の中には、今日の取引で使う契約書類、一六〇〇万円の小切手や携帯電話が入っていた。今、携帯電話を借りて電話している。」と言ったのです。そして「警察や上司の部長にも鞆を無くしたことを正直に話すつもりだ。」と説明したのです。息子の役職は現在部長なのに上司が部長ということは、おかしいなと感じましたが、他の課の部長か先輩の部長かなと思ったのです。息子を名乗る男は、いかにも非常事態であるかのような口調だったので、そこからは息子の役職についてあまり深く考えませんでした。また、会社に電話して確認しようとも思ったのですが、会社の同僚に知られてはいけないと思ったので、電話をしませんでした。

息子を名乗る男は「鞆の中に入っていた契約書類と小切手は今日の取引で使うもので、どうしても今日中にお金を用意しなければなりません。今、上司が今日の取引に必要なお金集めに行っていて、上司も母親にお金を準備するように頼んでいる。お父さんはどれくらい出せる？」と聞いてきたので、夫が「五〇〇万円くらいなら」と答えたのです。息子を名乗る男は「上司に相談する。」と言い一端電話を切りました。

しばらくするとまた電話があり、「四〇〇万円貸してくれないか。明日部長と一緒に借用书を持って返しに行く。」と言ってきたのです。私は、職場に迷惑をかけてしまったお詫びとしてお寿司を用意して待っていると息子を名乗る男に伝えたのです。

夫は一人で車を運転して銀行に行って四〇〇万円を用意しました。

お金が用意できたことを知らせるため、上司を名乗る男性に電話して知らせました。そうしたら、上司を名乗る部長が「今部下が仕事で近くを回っているので五、六分で行けるので渡してください。」と言ったのです。この時も私達は、息子は海外で仕事するのが普通なのに、近くを回っている部下がいるなんて不自然だなと思いましたが、受け取りに来てくれる人を待ったため家の前で待っていました。待っている間、振り込め詐欺であるという事まで頭が回りました。しばらくすると真面目で人柄のよさそうな男性が取りにきたので、私は「ご迷惑をかけてすみません。」と言ってお金を渡してしまいました。

お金は明日返しに来るということだったので、翌日、本当の息子の携帯に電話して「昨日は大変だったね。」と聞くと息子は「そんなの知らないよ。」と答えたので、ここで初めて騙されたとわかり一気に力が抜けてしまいました。

今思うと、私達はなんて浅はかだったんだろうという悔しい気持ちと、警察には犯人を捕まえてもらいたいと思っています。

そして、犯人に対して言いたいことは、少しでも良心があれば悪から立ち直って真面目な人間になつてもらいたいというのが本音です。

また、警察官から色々な手口、対応方法を教えてもらい大変勉強になりました。これ

からは、おかしいと感じたら、一に確認、二に確認をするという心掛けや、日頃から振り込め詐欺の手口の変化等に耳を傾けて気をつけなければいけないだなと感じました。今でも寝ている時に四〇〇万円のことを思い出し起きてしまうことがあります、決して忘れることはありません。皆さんの自宅にも今日詐欺グループから電話が来るかもしれません。風邪を引いたとの電話には十分注意してください。他人ごとだと思わず危機感を持つてください。



五 「人生最悪」の一日でした。

女性 七八歳

午前一〇時ころ、自宅の電話が鳴りました。

いつもは相手の声を確認してから電話に出ていたのですが、その日は、旅行に行っていた息子家族が一週間ぶりに帰宅する予定だったので直ぐに受話器を取ってしまいました。すると男の声で「電話きた？」と聞かれたのです。電話口の声は息子と孫に似ていたので、息子と孫の名前を言って「どっちなの？」と聞くと息子の名前を名乗ったので、息子からの電話なんだと信じてしまいました。

私は「どこからの電話を待っているの？」と聞くと「駅のトイレでカバンを置き引きされてしまった。携帯電話も一緒に盗まれたから、今、会社の携帯から電話をしている。警察には自宅の電話を教えるから、電話が掛かってきたら、これから言う番号に電話をして欲しい。」とすすり泣きをしながら電話番号を伝えてきたのです。

電話を切ってから三〇分くらい経ったとき、東京駅の遺失物係を名乗る男から「息子さんのカバンが拾われているので、息子さんに取りに来るよう、伝えて下さい。本人確認のため、落とした人の名前や生年月日、あなたの住所や家族について答えて下さい。」と言われ、カバンを返すのに必要なんだと思い、特に疑問に感じることもなく、私や息

子の住所、氏名、生年月日、私が一人暮らしであることや私の携帯電話番号などまでも聞かれるままに答えてしまったのです。

そして、私は男に教えられた番号に電話を掛け、東京駅にカバンが届いていることを伝えたのです。男は「助かったー、これから急いで取りに行くよ。」と嬉しそうな声で言っていたので私も「よかったね。」とホッと胸をなで下ろしました。

ところが男に電話をしてから一時間くらい経ったとき「カバンを取りに行ったら五〇〇万円の小切手が無くなっていました。お金は今日必要なんだけど小切手は再発行に数日かかるからお金を貸して欲しい。」と泣きながらお金を無心する電話が掛かってきました。

私はこの時「ちょっと話がおかしいな。」と思ったのですが、上司を名乗る男が電話を代わり「息子さんは仕事をよくやってくれています。ただ、今日どうしても五〇〇万円は支払わなくてはならない。とりあえず私も二二〇万円銀行から下ろしました。今日中にお金を支払わないと息子さんは大変なことになります。明日にはお返しするので残りの二八〇万円の都合を付けて下さい。」と強く言われたのです。私は「息子は今回の失敗で会社をクビになるかもしれない。」と思い込み、半ば押し切られる感じで二八〇万円を貸す約束をしてしまったのです。

上司を名乗る男は「最近、銀行では大金をすぐに引き下ろせないのです、車を購入すると言うといいですよ。」とアドバイスをしてくれました。もうこの時は詐欺グループの巧妙な罠に掛かってしまい、完全に操られている状態でした。

私は急いで銀行に行ってお金を下ろすと、男に電話を掛けたのです。男は「〇〇駅まで来て欲しい。」「近くのコンビニまで移動して欲しい。」などと、次々と指示を出し、私はその通りに動きました。そして、午後二時二〇分ころ、道路上で声を掛けてきた男に大切なお金を渡してしまったのです。

今回、被害に遭ってしまった理由は「電話なかった?」などと突然電話口で言われたため、無意識のうちに息子の名前を言ってしまったことです。

自分が振り込め詐欺の被害に遭うと思っている人は少ないと思いますが、一度息子だと信用してしまつと、東京駅の職員を名乗る男や息子の上司を名乗る男の言うことも完全に鵜呑みにしてしまい、質問に答え、言われたとおりにお金を下ろし、渡してしまうのだということが被害に遭って初めて分かり、振り込め詐欺は誰もが被害者になり得る恐ろしい犯罪だと感じました。

今は自分の愚かさを反省し辛い思いをしていますが、騙されたお金は戻ってきません。皆さんは振り込め詐欺に遭わないために「掛けてきた電話の本人に必ず電話確認をする。」「一人で解決しない。」「お金が絡む話には乗らない。」ようにしてください。

振り込め詐欺の犯人にお金を手渡した時、最初の電話があつてから、一時間しか経っていませんでした。

昨年四月中旬の午後四時三五分ころ、そろそろ夕ご飯の準備をしようとしていると、自宅の電話が鳴つたのです。電話に出ると、若い男の声で「もしもし、オレだけど」と話しかけてきたのです。その声は孫の声に似ていたので「〇〇なの？」と孫の名前を言う。「そうだよ。〇〇だよ。」と答えたので、孫からの電話だと信じてしまったのです。

このときは一〇二分雑談をして電話を切りました。電話を切つてから二〇三分すると、また男から電話があり「実は今の仕事をしながら会社のお金を上手く遣り繰りして、浄水器を購入して売っていたんだけど、そのことが会社にバレてしまいクビになるかもしれない。会社にすぐ一〇〇万円を返さないといけないから貸してもらえないかなあ。」と言つてきたのです。普段、孫は両親のことをパパ、ママと呼んでいるのに電話では、お父さん、お母さんと言つていたので「おかしいな」とは思ったのですが、孫からの電話と信じていたのでお金を貸すことにしたのです。

男は「おばあちゃんの家の近くまで△△課長に取りに行つてもらってから直接渡して欲しい。課長は事情を知らないので現金とは言わないので書類だと言つて。郵便局の窓口はもう閉まつてるし、ATMももうすぐ閉まる時間だからで急いでね。」と言つて電話を切つたのです。

この時の時刻は、郵便局が閉まる直前の午後五時ころだったので、慌てて近くにある郵便局のATMに行き、二回に分けて九〇万円を引き下ろし、来月旅行に行くために自宅に置いてあつた一〇万円を足して一〇〇万円を用意したのです。

午後五時半過ぎにまた男から電話があつて「課長がおばあちゃんの家の近くまで来ているから、家を出て右に曲がった駐車場で待つて欲しい。」と言われ、現金と雑誌を封筒に入れて書類に見せかけ、駐車場に持つて行つたのです。

そして、駐車場の前で五分くらい待つていると、フラフラと男が一人で歩いて来て「△△です。〇〇さんに頼まれた書類を取りに来ました。」と話しかけてきたのです。この時「課長が取りに来ると言つていたので、この男の歩き方は会社員っぽくないし、服装もだらしがないし、本当に課長なのかな？」と課長らしくない雰囲気になりええい違和感を感じたので、お金を渡すのが心配になりました。

だけど、男を疑う気持ちよりも「孫を何とか助けてあげたい。」という気持ちの方が強かつたので、一〇〇万円の入つた封筒を渡してしまつたのです。

翌日、孫が仕事休みで自宅にいたのでお金を渡した話をする。「それはオレオレ詐欺だよ」と言われ、振り込め詐欺に引つ掛かつてしまったことに気付いたのです。アー、やっぱりあの男は偽物の課長だつたんだと後悔したり、悔しさにやり切れなくなりまし

た。

私は、旅行が大好きで、毎月、日本全国をあちこち旅行していたのですが、騙されてからは精神的に疲れ、また、お金も節約しなくてはならないので、旅行に行くこともなくなり、誰とも話をしたくなくなつて塞ぎ込んでしまいました。

私は振り込め詐欺の手口を知っていたにもかかわらず、引っ掛かってしまいました。この犯罪は人の良心を逆手に取っているのです、また電話が掛かってきて犯人と話をしましたら被害に遭ってしまうと思ひ、固定電話を解約し、携帯電話のみにしました。皆さんも被害に遭わないように電話は留守番電話に設定し、相手が誰なのか分かつてから受話器を取るようにして、被害に遭わないようにしてください。



七 警察官と言ったから信用したのに！

く もう誰も信用できなくなつた く

女性 八〇歳

私は、突然刑事さんからの電話で「あなたの口座が振り込め詐欺に使われています。」と言われたので、その電話を全面的に信用してしまいました。そして、家に来た銀行協会の人にキャッシュカードを渡してしまいお金を下ろされてしまいました。

皆さんは、警察から電話が来たらその言葉を信用しますか？
私の苦い経験をお話ししますので、警察官を騙る詐欺に遭わないように注意していただけばと思います。

昨年、あと二週間で新しい年を迎える日のお昼ころ、自宅の電話が鳴りました。

電話に出てみると相手は、私の名前を言ってから「こちらは〇〇警察署の者です。自分の身分は振り込め詐欺対策室の一班の班長の××巡查です。あなたにとつてとても大事な事ですから良く聞いてください。あなたの口座がどうやら詐欺の者達に悪用されている様です。あなたの口座が使われているからキャッシュカードを取り替えないと悪いことになります。銀行協会で全国の銀行の手続きを出来るようになってるので、△△という者からそちらに電話させます。△△から電話があつたら、あなたの口座が振り

込め詐欺に利用されたことと、今もっているカードを指紋登録したいので取り替えてくださいと必ず言うてください。」と連絡してきたのです。

私は警察からの電話なので、その言葉を一〇〇パーセント信用しました。だってそうじゃありませんか。警察や市役所職員が嘘をつくはずがないと思っっているのですから。

その後、一〇分くらいして銀行協会の△△から電話がありました。

銀行協会の△△は、「口座にお金はいくらありますか。私の部下の□□という者が近くに行っていますので一五分か二〇分くらいで家に着くと思います。その者にあなた名義のカードを渡してください。カードは何枚お持ちですか？暗証番号を教えてください。新しい番号は何番にしますか？カードを渡したら必ず受領証を受け取ってください。明日、必ずお届けに行きます。」と言ってきたので、私は2枚のキャッシュカードの暗証番号を教えてくださいました。

それから三〇分くらいして□□という男の人が来て、私はキャッシュカードを二枚渡してしまいました。その時、□□は受取証を置いていきました。

私はキャッシュカードを渡した翌朝、「昨日のことは本当かしら？」と少し心配になったので、〇〇警察署に××という警察官が本当にいるか問い合わせたら、そのような警察官はおらず、振り込め詐欺対策室はないと言われました。振り込め詐欺の被害に遭ってキャッシュカード二枚を騙しとられたのが、ここでようやく分かったのです。

そして、キャッシュカードを渡した日に、約六〇万のお金が引き出されていることが分かりました。全額下ろされたわけではありませんが、警察に確認の電話を入れて、キ

ャッシュカードの使用を止めてもらいました。もし、警察に連絡が遅れたらお金を全部下ろされたかも知れないと思うと腰が抜ける思いがしました。

下ろされてしまった約六〇万円は、私にとって大事なお金ですが、いつまでも悔しさや自分を責めてもいけないと思い、ちょうど室内のリフォームを終えたばかりなので、この騙されたお金をこのリフォームに使ったと思うように早く忘れるようにしました。

振り込め詐欺については、交番の広報紙が月一回、回覧板で来ているので、その記事を読んだりテレビなどで知っています。

少し前には、最寄りの交番の警察官が来てくれて、振り込め詐欺の話をして注意するよう声をかけていただきました。

私も振り込め詐欺なんかには騙されないと自信を持っていましたし、今まで、息子を騙った電話なんかも全くありませんでした。

私は、貯蓄が十分にあるわけではありませんし、少しばかりの貯蓄と年金で生きて行かなければなりません。

もう二度と振り込め詐欺に騙されるわけにはいきません。私は、今回の苦い経験から振り込め詐欺の予防対策として次のことに気をつけていきます。

- 警察や市役所から電話があっても、金銭に係わることは簡単に信用しない。相手が言ってきたことに対して、本当の警察や市役所に必ず確認の電話を入れる。
- 警察官や銀行協会を騙る犯人の話は、本当に親切で何も疑いを持たせない言い方をしてきますが、実は極悪のグループであることを知っておく。

○ 息子からの電話でも、金銭に係わることは息子の今までの携帯電話に必ず電話をかけて確認する。

○ 私の家には、詐欺グループからの電話なんかこないとは思わない。いつか、電話がかかってくると思っただ方が良い。

どうか、皆さんも警察官や銀行協会を騙る振り込み詐欺の被害にあわないように注意してください。



八 早く警察に連絡して良かった

女性 七五歳

私は、「市役所の健康保険課です！」の一言で完全に信用してしまいました。私は振り込み詐欺については、新聞やニュースで関心をもっている方だと思います。過去にも同じような電話があったので今回で二回目となります。

一回目の電話は、孫を騙って「△△だけ。」と言ってきました。孫は普段私のこと「おばあちゃん。」というので、この時点でおかしいと感じましたし、声も違っていたのですぐ見破ることができました。

また、私が現在入会しているサークルの女性会でも、この電話の前日にオレオレ詐欺のことが話題になっていて、注意していたので防げたのだと思います。

今回被害にあったのは還付金詐欺でした。昨年、十二月二十日の午前二時頃、「□□市役所です。」という電話があり完全に信用してしまっただけが始まりです。私が電話に出た時、始めは相手は無言で何も言わなかったの、「はい。」と言ったら相手の男性は名前は言いませんでしたが「□□市役所健康保険課です。○○さんですよ？前に書類を送ってるんですけど、振り込み用紙が入ってませんか？期限は一月末なんです。」と言ってきましたので、私は「確認してみます。」と言ってすぐに電話を切ろうとしたところ、男性は「ちょっと待ってください。あなたの携帯電話番号を教えて

ください。」と言ってきました。そして「還付金として二万七千五百円が返ってきます。」と言われたので、私は思いがけずお金が返ってくる、嬉しいと思いました。この時、完全に男性の話を信用してしまっているのです、お金が返ってくるということだけが頭に残ってしまいました。

相手の男性は「A銀行のB支店に行ってください。」と銀行を指定してきて、「二〇分以内に行けますか？」と言ってきたのです。何でそんなに急がせるの？ちよつとおかしいなとは思いました。

それから「キャッシュカードと携帯電話を持ってA銀行に行つて着いたら電話ください。」と言われました。私がA銀行に着いた時、ATMの前には客が並んでいたのですが、少しすると客がいなくなり私一人になりました。そうしたら、タイミング良く相手の男性から電話がかかってきました。

電話の内容は「〇〇さん、今A銀行にいますか？五〇万円くらい残金がなければ返金できない。」等と相手の男性はボソボソ言っていました。今思うと通帳にはいくら入っているのか確かめなかったんだと思います。ATMで操作する中で一番おかしいと思つたのが私の銀行に振り込まなければならぬのに、私の取引のない銀行名のボタンを押すよう指示してきたのでおかしいなと感じました。

また、私の銀行に入金するのに何で私が操作してらんだらうと、段々不安になってきました。ATMの操作では色々数字を指示されていたと思いますが、不安になりながらもお金が返ってくると思っていたので、指示されたとおりボタンを押してしまいました。

ATMの操作が終わるとATMから私のキャッシュカードと明細書が出てきたので確認したところ、私の口座から一〇〇万円弱ほど送金されていたのです。ここで初めて「やられた！」と思つたのです。先ほどATMで私一人になった時、あまりにもタイミング良く私の携帯電話に相手から電話がかかってきているので、私は見張られているのかなと急に怖くなり、直ぐに自宅に戻りました。そして、家に着くなり警察に還付金詐欺に遭つたことを電話しました。

警察では送金したお金をストップしてくれて、元の口座に全額返金することができました。早く気付いて警察に対応してもらい助かりました。

今回のことで、還付金詐欺の対策として次のことを行いたいと考えています。

- 今の電話は、相手の電話番号が表示しないので、電話番号を表示する電話機に換える。
- 電話番号を表示しない（非通知）電話には絶対出ない。
- 非通知の電話は、振り込め詐欺や還付金詐欺等の怪しい電話と思つて良い。
- 私の家に連絡したいのなら、身分（電話番号）を明らかにしなさい。
- 市役所からの還付金手続き（入金を受けること）は、絶対、ATMでできないことを知っておく。

皆さんは、自分の家に還付金の詐欺グループから電話がかかって来ることはないとは思わないでください。市役所からお金に関することを言ってきたら、必ず本場の市役所の担当課に電話して確認してください。そうすれば還付金詐欺は必ず防げます！

九 振り込め詐欺 絶対許せません！

〽 犯人、捕まえてもらいました！ 〽

女性 五九歳

私は、高齢者から大金を騙しとるといふ振り込め詐欺の犯人を絶対に許すことはできないといつも思っています。

ところで、私の家は自営業でして夫をはじめ息子達は現場に行っているのですが、事務は私が担当しています。家の電話には、仕事やら家族への電話がたくさんかかってきて、私が電話対応しています。我が家は大家族で賑やかな方です。おかしな内容の電話があれば、私が夕食の時などに「今日、こんな電話があったんだよ。」等と話題にしています。

振り込め詐欺の電話は、以前から何度も家にかかってきており、息子の声と全然違っていたので、その都度、見破ることができました。そして、「この次電話があったら警察に通報しよう。」と待っていたのです。遂に、昨年一月末の午前十一時二五分頃に振り込め詐欺の犯人から電話がかかってきました。

その男は「母ちゃん、もしもし、俺だけど。」と非通知で電話をかけてきました。

男は「大事な書類が入った鞆を落としてしまった。財布と携帯も入っていたんだ。交番に届け出してあるから警察の忘れ物センターから電話が入るかもしれない。」と言って電話を切りました。

私は「来た来た。」と思い、警察に直ぐに電話をしました。すると、午後一時四五分頃、また自宅に電話が架かってきて「鞆の中には、七〇〇万円の小切手が入っていたんだ。上司や上司の奥さんも金策に動いているんだよねー！いくらか用意できないかなー？」と言ってきたので、「うーん、一五〇万円くらいならできるかなー。」と言ってやりました。私はこの時点で完全に嘘を見破っていて、息子でもないこの犯人のために、お金を用意する気は毛頭ありませんでした。警察に通報後、直ぐに刑事さんが駆けつけてくれたので、頼もしいし、心強いと感じました。

すると午後〇時二三分頃、また息子を装う男性から電話があり、「今、上司と一緒にいるんだ。ちょっと代わるね。」と言い、上司を装う男性が電話に出ました。上司を装う男性は、「五〇〇万円は私の妻が用意しました。二〇〇万円足りないのですがお母さんに用意してもらおうのは一五〇万円で構いません。午後三時までに息子さんと、そちらに伺いますので用意しておいてください。」と言ってきましたが、私は、「上司の声は息子を名乗っている男の声より若い感じがするし、上司って感じではないな。」と思いつながら、お金を用意することを伝えました。

この振り込め詐欺の犯人達は、何度も様子伺いの電話があり、「今、家にいるの一人？」と家族がいるのか確認する電話もかかってきました。しばらくすると、「部下の〇〇という者が近くを回っているので取りに行かせます。」と電話があり、更に「お金を取り

に行った○○が家が分からないので、△△小学校の前まで来て欲しい。」と連絡してきました。

これが、振り込め詐欺の手口か。うまく考えたものだなと騙されたふりをして△△小学校に行きました。そして、お金を受け取りに来た○○に会って話をした後、刑事さんが捕まえてくれました。

振り込め詐欺を防ぐ方法としては

- 可能であれば自宅の固定電話は、ナンバーディスプレイで非通知拒否に設定した方が安全です。
- 非通知で架かってくる電話は、オレオレ詐欺の電話か、ろくでもない営業の電話と思った方がよいと思います。
- おかしいと思った電話は、必ず息子や孫に確認してください。もし、電話に出なかったら会社に確認する等してください。
- お金に関する電話は、まず落ち着いて、詐欺だと思ってください。
- 普段から家族間で振り込め詐欺を話題にしたり、電話が来た時の合い言葉を決めるなど工夫してください。
- 私の経験ですが、息子を騙る男が外で電話をかけていると言っているのに、自動車の音や外の雑音が一切聞こえないどころか、どこかの部屋の中でイスの動く音や周りで小声で何か言っているような声も聞こえる時もあります。気持ちを落ち着かせれば、不自然な様子が分かります。

以上のことを常に頭に入れておけば必ず見破ることが出来ると思います。

私は警察に協力して、オレオレ詐欺の犯人を捕まえてもらいました。今後も警察に協力していきたいと考えています。



終わりに

「振り込め詐欺被害者の声」を発刊するに当たり、八人の振り込め詐欺被害者及び一人の振り込め詐欺の現金受取役の犯人検挙に協力してくれた協力者のご理解を得てインタビューをさせていただきました。

振り込め詐欺の被害者全員に対する調査結果ではありませんが、八人の被害者に共通する事項は

- 真面目な方ばかりで他人を疑うことが余りなく、逆に信用する気持ちは強い。
- 振り込め詐欺に対して、私は騙されないと自信を持っている。
- 息子など身内を助けたい一心で行動している。
- 被害にあった八人のうち、七人が家族に相談することなく一人で判断し、お金を渡したり、ATMコーナーで相手の指示どおりATMを操作した。
- お金を取られた被害はもとより、精神的な被害も受けている。

でありました。

振り込め詐欺グループの子や孫等を名乗る騙しの内容は

- 「オレだよ！」と言って、電話に出た母親等から息子（孫）の名前を先に言わせて、「そっだよ。××だよ。」と言うこともある。
- カバン忘れ（盗難）を口実に、携帯電話、小切手、現金が盗まれた。
- 今使っている携帯電話は、上司（会社、レンタル等）の電話を使っているから電話番号をメモして。
- 上司がいくらか負担してくれるが、自分の責任だからお金を用意して欲しい。
- お金を用意できたら取りに行くと言って、最後には取りに行けなくなつたから信頼のできる△△に行かせるので、お金と分からないように忘れ物として渡して

欲しい。

- 親や祖母を災いの渦中に巻き込んで、冷静な判断をさせない。
- ATMで医療費等の還付金の手続きができる。

ということです。

電話の相手がこの「キーワード」を使ったら、振り込め詐欺や還付金詐欺の電話だと考えて間違いありません。

本年に入り、一月早々からカバン遺失を口実にした詐欺や還付金詐欺が県内で多発しています。

この卑劣な振り込め詐欺の被害を防止するには、高齢者の方は勿論のこと、家族の皆さんや地域ぐるみ、社会全体で振り込め詐欺に関心を持つていただき、振り込め詐欺グループから電話が来た段階で、直ちに見抜きシャットアウトしていただくことが大切だと考えております。

この「振り込め詐欺被害者の声」が、千葉県民、関係団体等の皆様にとって、振り込め詐欺防止に対するご理解と関心を深める一助となれば幸いです。

平成二十六年二月